

令和2年度保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金に係る 得点ができなかった評価指標に対する今後の取組について

Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(2) 地域包括支援センター・地域ケア会議

	指標	今後の取組(得点ができなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
②	<p>地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業を実施しているか。 ※ 地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)一人当たり高齢者数(圏域内の第1号被保険者数/センター人員)の状況により評価) 【ア又はイのいずれかを選択】</p> <p>ア 1,250人以下 イ 1,500人以下</p> <p>※ 小規模の担当圏域における地域包括支援センターについては配置基準が異なるため以下の指標を満たした場合アを選択することとする。 担当圏域における第1号被保険者の数が概ね 2,000人以上3,000人未満:1,250人以下 第1号被保険者の数が概ね 1,000人以上2,000人未満:750人以下 第1号被保険者の数が概ね 1,000人未満:500人以下</p>	<p>【得点ができなかった原因など】</p> <p>令和元年度に引き続き以下の理由</p> <p>国の定める基準を参酌して定めた本市条例の基準を参考にし、地域包括支援センターの担当圏域内における被保険者人数が6,000人以上の場合は、2,000人ごとに1名の職員を配置することとしているが、当該指標で設定された基準を満たすための人材の確保が困難であるため。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>近隣市の取り組みに注視しつつ地域包括支援センターの業務量に応じた人員配置を検討する。</p>	30点
⑤	<p>個別事例の検討等を行う地域ケア会議の開催件数割合はどの程度か。</p>	<p>【得点ができなかった原因など】</p> <p>市主催および高齢者サポートセンター主催でそれぞれ会議を開催しているが、人口規模からみて、受給者数が多いため、検討件数の割合を増やすことが難しい。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>他市の開催状況を知り、効率的に開催する方法を検討する。 (5市会議の議題として提出。他市の状況を把握する予定) 提出書類を見直し、地域ケア会議開催にかかる負担を軽減する。</p>	20点

⑥	個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か。	【得点できなかった原因など】 市主催および高齢者サポートセンター主催でそれぞれ会議を開催しているが、人口規模からみて、受給者数が多いため、検討件数の割合を増やすことが難しい。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他市の開催状況を知り、効率的に開催する方法を検討する。 (5市会議の議題として提出。他市の状況を把握する予定) 提出書類を見直し、地域ケア会議開催にかかる負担を軽減する。	
⑧	地域包括支援センターが夜間・早朝又は平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。 ア 夜間・早朝の窓口(連絡先)の設置・周知	【得点できなかった原因など】 夜間・早朝の緊急連絡先を設けていたが、その周知を行っていなかったため。	5点
		【上記事項を踏まえた改善策】 令和2年度中に市川市のホームページに緊急連絡先に関する情報を掲載し周知を行う予定。	
⑧	イ 平日以外の窓口(連絡先)の設置・周知	【得点できなかった原因など】 平日以外の緊急連絡先を設けているが、その周知を行っていなかったため。	5点
		【上記事項を踏まえた改善策】 令和2年度中に市川市のホームページに緊急連絡先に関する情報を掲載し周知を行う。	
⑨	地域包括支援センターが、社会保険労務士や都道府県労働局、公共職業安定所、民間企業等と連携(相談会や研修会への協力等)するなど介護離職防止に向けた取組を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 昨年度の実績の中では 連携等の取組がなかったため。	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 令和2年11月に高齢者サポートセンター研修会にて千葉労働局の職員から介護離職に関する相談状況、千葉県労働局での介護離職防止に向けた取り組みについて講演を依頼。今後の労働局やハローワークとの連携につなげていく。	

(4) 認知症総合支援

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
①	<p>市町村介護保険事業計画又は市町村が定めるその他の計画等において、認知症施策の取組(「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」第二の三の1の(二)に掲げる取組)について、各年度における具体的な計画(事業内容、実施(配置)予定数、受講予定人数等)を定め、毎年度その進捗状況について評価しているか。</p> <p>ア 計画に定めており、かつ、進捗状況の評価にあたり、認知症当事者(認知症の人やその家族)の意見を聞いている</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>毎年、翌年度、5～8月の間に事業担当者が当該年度の取り組みや目標に対する進捗等を記載した自己評価シートを作成。社会福祉審議会に報告し、委員から意見を聞いているが、認知症当事者の意見を聴く仕組みはできていなかった。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>2019年度実績については、令和2年11月の社会福祉審議会にて説明予定である。 高齢者サポートセンターが実施する家族介護者教室や、認知症カフェにおいて、認知症当事者や家族の意見を聴けるような仕組みを検討する。</p>	30点
④	<p>郡市区等医師会等の医療関係団体と調整し、認知症のおそれがある人に対して、かかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。</p> <p>イ もの忘れ相談会などの実施によりスクリーニングを行っている</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>市川市医師会主催の「認知症高齢者を考える世話人会」への参加や医師会作成の認知症に対応するかかりつけ医リストの周知など、連携は進めているが、市の取組とは言えない。 物忘れ相談会等の実施に関しても、市川市医師会と協議を行う機会がなかったため。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>在宅医療介護連携推進に関する会議等において、物忘れ相談会等の実施に関し協議していく。</p>	10点
		<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>市川市医師会主催の「認知症高齢者を考える世話人会」や、在宅医療介護連携推進に関する会議等において、関係機関へ認知症ケアパスを配布しているが、使用するためのルール策定に至らなかった。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>在宅医療介護連携推進に関する会議等において、認知症ケアパスの使用ルールや、普及啓発のための取り組みを議題として提起し、認知症の早期診断・早期対応に繋げていく。</p>	10点
		<p>ウ 認知症ケアパスを作成し、関係者間で連携ルールを策定し、活用している。</p>	

⑤	<p>地域における認知症高齢者支援に係る以下の取組を行っているか。</p> <p>イ 認知症の人の見守りネットワークなどの体制の構築</p> <p>a 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかわる企画・立案・調整を行っている</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>取り組みが事務局による行方不明者の情報発信に留まっており、ネットワーク体制構築への取り組みを行っていないため。</p>	10点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>地域支援推進員の配置について令和3年度の当初予算要求を行っている。 地域支援推進員の役割として見守りネットワーク構築に向けた徘徊模擬訓練の企画運営を想定している。</p>	
⑥	<p>認知症サポーターを活用した地域支援体制の構築が行えているか。</p> <p>ア 認知症サポーター養成講座の受講者のうち希望者を具体的な活動に繋げる仕組みの構築</p> <p>a 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っている。</p> <p>イ ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み(チームオレンジ等)の構築</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>認知症サポーターを対象とした「認知症サポーターステップアップ講座」の開催により、地域で認知症の方を支援する活動への参加の動機付けを図り、認知症カフェを中心とした活動の場を紹介している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止とした。 また、これまで実際の活動については認知症サポーターの自主性に任せていたこともあり、活動に繋げる仕組みとして機能していない面がある。</p>	20点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>講座を通して活動意欲のある認知症サポーターを把握し、初回の活動をコーディネートする等具体的な仕組みを検討する。</p>	
		<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>認知症サポーターが認知症の人やその家族の支援につなげる仕組みを具体的に検討できていない。</p>	40点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>既存の取組や仕組みを拡充することで、認知症サポーターが認知症の人やその家族を支援する仕組みにつなげられないか検討していく。</p>	

(5) 介護予防／日常生活支援

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
②	サービスC(短期集中予防サービス)を実施し、かつ、サービス終了後に通いの場へつなぐ取組を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 サービスCが未実施のため	30点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他のサービスの状況と併せてサービスCの実施について検討を行っていく	
③	通いの場への65歳以上の方の参加者数はどの程度か(【通いの場への参加率＝通いの場の参加者実人数／高齢者人口】等) ア 週一回以上の通いの場への参加率 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割	【得点できなかった原因など】 社協との連携からサロンの実態は把握されているが、それ以外の通いの場に関しては把握が十分にできていない	15点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他機関との連携の強化、介護予防把握事業の構築により実態把握に努める	
	イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化率 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割	【得点できなかった原因など】 「市川みんな体操」のPR、体験講座を行い、活動実施団体数の増加に努めた。	15点
		【上記事項を踏まえた改善策】 今後もより身近な場所で活動可能になるよう、実施団体の増加に努める。	
	ウ 月一回以上の通いの場への参加率 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割	【得点できなかった原因など】 社協との連携からサロンの実態は把握されているが、それ以外の通いの場に関しては把握が十分にできていない	15点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他機関との連携の強化、介護予防把握事業の構築により実態把握に努める	

③	<p>エ 月一回以上の通いの場への参加率の変化率</p> <p>a 全保険者の上位1割</p> <p>b 全保険者の上位3割</p> <p>c 全保険者の上位5割</p> <p>d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>社協との連携からサロンの実態は把握されているが、それ以外の通いの場に関しては把握が十分にできていない</p>	15点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>他機関との連携の強化、介護予防把握事業の構築により実態把握に努める</p>	
④	<p>通いの場への参加促進のためのアウトリーチを実施しているか。</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>通いの場の把握が十分にできていない。</p>	30点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>積極的な通いの場の実態把握に努めるとともに、引きこもり等の可能性がある対象者の把握に努めアウトリーチの実施に向けた仕組みを構築する。</p>	
⑥	<p>介護予防と保健事業を一体的に実施しているか。</p> <p>ア 通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>介護予防と保健事業の一体化における事業の実施は現時点では行われていないため。</p>	10点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>一体化の事業実施に向け、関係各課と連携し準備を進めていく。その中で、通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア実施に向けて栄養士・歯科衛生士・保健師による支援体制を構築する。</p>	
	<p>イ 通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>一体化事業の準備を進める中で実施予定であり、現時点では実施していないため。</p>	10点
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アの改善策実施に伴い、他機関との連携の仕組みの構築を図る。</p>	

⑦	現役世代の生活習慣病対策と連携した取組を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 保健との連携が行われていないため、単独の取組みで完結している。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 介護予防と保健事業の一体化に伴い連携強化を図り、生活習慣病と連携した取組みを実施していく。	
⑧	関係団体との連携による専門職の関与の仕組みが構築されているか。 ア 医師会等の関係団体と連携して介護予防を進める体制を構築している	【得点できなかった原因など】 医師会等の関係団体との協議の場を設けておらず、介護予防を進める体制には至っていない。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 介護予防と保健事業の一体化に伴い医師会等の関係団体との協議の場を設け、連携して介護予防を進める体制を構築する。	
	イ 医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みを構築している	【得点できなかった原因など】 医療機関等関係団体と協議の場を設けておらず、通いの場等への参加をうながす仕組みの構築には至っていない。	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 介護予防と保健事業の一体化に伴い連携強化を図り、通いの場等への参加をうながす仕組みを構築する。	

⑩	地域の多様な主体と連携しているか。	【得点できなかった原因など】 社協等地域の多様な主体との連携を進めているが、介護予防を進める体制の構築には至っていない。	10点
	ア 地域の多様な主体と連携して介護予防を進める体制を構築している	【上記事項を踏まえた改善策】 サロン等知己の多様な主体と連携し、介護予防に関する普及啓発を進めて行く。	
⑩	イ 多様な主体が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している	【得点できなかった原因など】 多様な主体が行う通いの場等の取り組みの把握ができていないため。	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 サロン、高齢者クラブ等地域の多様な主体に出向き、状況把握に努めていく。	

⑪	社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 民間サービス1団体と連携し、介護予防の取組を実施したが、多様な関係団体との連携が不十分であった。	10点
	ア 多様な主体の提供する予防プログラムを通いの場等で提供している	【上記事項を踏まえた改善策】 多様な関係団体との連携を図り、介護予防の取組を検討していく。	
	イ 参加前後の心身・認知機能等のデータを管理・分析している	【得点できなかった原因など】 アの理由による	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 多様な関係団体との連携による介護予防の取組の中で、データ管理分析を行う。	
	ウ 参加者の心身改善等の成果に応じて報酬を支払う成果連動型の委託を実施している	【得点できなかった原因など】 アの理由による	5点
		【上記事項を踏まえた改善策】 多様な関係団体との連携による介護予防の取組の中で、データ管理分析を行う。	
エ 参加者の〇%以上が心身・認知機能等を改善している	【得点できなかった原因など】 アの理由による	5点	
	【上記事項を踏まえた改善策】 多様な関係団体との連携による介護予防の取組の中で、データ管理分析を行う。		

⑬	経年的な分析が可能となるよう、通いの場の参加者の健康状態等をデータベース化しているか。	【得点できなかった原因など】 通いの場における参加者の健康状態等のデータベース化は未実施。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 健康管理システムにおいて、通いの場の参加者のデータ入力を行い、経年的な管理を行う。	
⑭	通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、通いの場の効果分析を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 住民主体の活動であり、統一した把握の指標がなかったため、参加者の健康状態の把握・分析には至らなかった。	15点
		【上記事項を踏まえた改善策】 後期高齢者への質問票などの活用により、通いの場の効果分析を行う。	
⑮	自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対する評価を実施しているか。	【得点できなかった原因など】 自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対する評価を行う手法等が確立されていないため。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 今後、福祉政策課、地域支えあい課、介護福祉課の3課において、どのように自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対する評価を行っていくかを検討する。	

⑬	高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか。	【得点できなかった原因など】 参加ポイント事業を実施している他課との兼ね合いもあり実施できていない。	10点
	ア 参加ポイント事業を実施しているか	【上記事項を踏まえた改善策】 他課との協議の上、高齢者の社会参加を促すためのポイント事業を検討していく。	
	イ 高齢者のポイント事業参加率が当該地域の高齢者全体の〇割を超えているか	【得点できなかった原因など】 アの理由による	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他課との協議の上、高齢者の社会参加を促すためのポイント事業を検討していく。	
	ウ ポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化を実施しているか	【得点できなかった原因など】 アの理由による	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他課との協議の上、高齢者の社会参加を促すためのポイント事業を検討していく。	
	エ ポイント事業参加者の〇%以上が心身・認知機能等を維持改善している	【得点できなかった原因など】 アの理由による	10点
		【上記事項を踏まえた改善策】 他課との協議の上、高齢者の社会参加を促すためのポイント事業を検討していく。	

(6)生活支援体制の整備

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
①	生活支援コーディネーターを専従で配置しているか。 第1層、第2層に専従で配置されている生活支援コーディネーター数を記載⇒0	【得点できなかった原因など】 専従配置をしていないため。	20点
		【上記事項を踏まえた改善策】 専従配置のためには、市職員の増員又は予算化が必要であり、現状では難しい。配置による成果・効果を明確にできるよう、考え方の整理を進めていく。	
④	高齢者の住まいの確保・生活支援、移動に関する支援を実施しているか。 イ 市町村において居住支援協議会を設置している。	【得点できなかった原因など】 居住支援協議会の設置については、関係機関と検討中である。	5点
		【上記事項を踏まえた改善策】 現行の「高齢者民間賃貸住宅あっせん制度」に住宅確保要配慮者を加えることで、さらなる支援につなげていく予定。	
④	ウ 介護予防・生活支援サービス事業による移動支援を実施している。	【得点できなかった原因など】 介護予防・生活支援サービスによる移動支援を実施していないため。	8点
		【上記事項を踏まえた改善策】 介護予防・生活支援サービスによる移動支援についての検討を行っていく。	

(7) 要介護状態の維持・改善の状況等

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
①	<p>軽度【要介護1・2】 (要介護認定等基準時間の変化)</p> <p>一定期間における、要介護認定者の要介護認定等基準時間の変化率の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p> <p>イ 変化率の差 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>軽度においては基準時間の平均値で比べると、 2019年1月1日 Ave 46.27分 2020年1月1日 Ave 46.48分 約0.21分の要介護認定等基準時間の増加がみられる。 軽度と比べると、要介護等認定基準時間の増加時間が大きく、要介護1・2においては、要介護1から2への進行を防ぐ軽度化の対策が不足していると考えられる。 現に要介護1・2の穂保険者数を比較すると、 要介護1 2019年 3,326人→ 2020年 3,316人(10人の減少) 要介護2 2019年 3,525人→ 2020年 3,608人(83人の増加) であり、新規申請で要介護2となる場合あるいは、要介護1から要介護2へ重度化する傾向が認められる。</p>	<p>20点</p> <p>※アとイを比較しより上位となった方で得点</p>
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>要介護認定者の要介護認定基準時間を減少させる施策等について、福祉政策課、地域支えあい課、介護福祉課等で検討を行っていく。</p>	
		<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>アと同様。</p>	
		<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アと同様。</p>	

②	<p>軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化)</p> <p>一定期間における要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p> <p>イ 変化率の差 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>軽度における平均要介護度は、 2019年1月1日 1.515 2020年1月1日 1.521 変化率は0.006増 中重度と比べると、平均要介護度の増加が大きい。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>平均介護度を減少させる施策等について、福祉政策課、地域支えあい課、介護福祉課等で検討を行っていく。</p> <p>【得点できなかった原因など】</p> <p>アと同様。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アと同様。</p>	<p>20点</p> <p>※アとイを比較しより上位となった方で得点</p>
③	<p>中重度【要介護3～5】 (要介護認定等基準時間の変化)</p> <p>一定期間における、要介護認定者の要介護認定等基準時間の変化率の状況はどのようになっているか。</p> <p>ア 変化率の状況 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p> <p>イ 変化率の差 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>中重度においては基準時間の平均値で比べると、 2019年1月1日 Ave 93.43分 2020年1月1日 Ave 93.29分 約0.14分の要介護認定等基準時間の増加がみられる。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>平均介護度を減少させる施策等について、福祉政策課、地域支えあい課、介護福祉課等で検討を行っていく。</p> <p>【得点できなかった原因など】</p> <p>アと同様。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アと同様。</p>	<p>20点</p> <p>※アとイを比較しより上位となった方で得点</p>

<p>④</p>	<p>中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化)</p> <p>一定期間における要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのように なっているか。</p> <p>ア 変化率の状況 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p> <p>イ 変化率の差 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>軽度における平均要介護度は、 2019年1月1日 3.833 2020年1月1日 3.836 変化率は0.003増</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>要介護認定者の要介護認定基準時間を減少させる施策等について、 福祉政策課、地域支えあい課、介護福祉課等で検討を行っていく。</p> <p>【得点できなかった原因など】</p> <p>アと同様。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アと同様。</p>	<p>20点</p> <p>※アとイを比較しより 上位となった方で 得点</p>												
<p>⑤</p>	<p>健康寿命延伸の実現状況</p> <p>要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのように なっているか。</p> <p>ア 認定率 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p> <p>イ 認定率の変化率 a 全保険者の上位1割 b 全保険者の上位3割 c 全保険者の上位5割 d 全保険者の上位8割</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <table border="0"> <tr> <td>①2020年1月の第1号被保険者数</td> <td>104,096人</td> </tr> <tr> <td>②①の内、2020年1月の要介護2以上の認定者数</td> <td>9,982人</td> </tr> <tr> <td>③認定率</td> <td>9.6%(i)</td> </tr> <tr> <td>④2019年1月の第1号被保険者数</td> <td>102,906人</td> </tr> <tr> <td>⑤④の内、2019年1月の要介護2以上の認定者数</td> <td>9,535人</td> </tr> <tr> <td>⑥認定率</td> <td>9.3%(ii)</td> </tr> </table> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>健康寿命延伸させる施策等について、福祉政策課、地域支えあい課、 介護福祉課等で検討を行っていく。</p> <p>【得点できなかった原因など】</p> <p>(i) - (ii) = 0.3%</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>アと同様。</p>	①2020年1月の第1号被保険者数	104,096人	②①の内、2020年1月の要介護2以上の認定者数	9,982人	③認定率	9.6%(i)	④2019年1月の第1号被保険者数	102,906人	⑤④の内、2019年1月の要介護2以上の認定者数	9,535人	⑥認定率	9.3%(ii)	<p>40点</p> <p>※アとイを比較しより 上位となった方で 得点</p>
①2020年1月の第1号被保険者数	104,096人														
②①の内、2020年1月の要介護2以上の認定者数	9,982人														
③認定率	9.6%(i)														
④2019年1月の第1号被保険者数	102,906人														
⑤④の内、2019年1月の要介護2以上の認定者数	9,535人														
⑥認定率	9.3%(ii)														

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

(1) 介護給付の適正化

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
②	ケアプラン点検をどの程度実施しているか。⇒年58件	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>評価指標が全保険者の上位3割、5割を評価となっていたのが、上位1割、3割、5割、8割と4段階と見直しによるもの。また、ケアプラン点検のカウントについては、介護福祉課で点検した事例の件数としていたため。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>ケアプラン点検のカウントについて、事例の件数ではなく、同一ケースの計画について、6か月分のケアプラン点検を行えば6件とカウントする。</p>	20点
③	医療情報との突合結果をどの程度点検しているか。 1年間の出力件数⇒8,521 点検した件数⇒969 自動計算⇒0.114	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>評価指標の見直しによるもの。点検対象を、請求誤りの可能性が高い一部に絞っていたため、新たな指標基準を下回る結果となった。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>点検数を一部から全件にする。さらに、得点ができている大規模市町村への点検方法の聞取り等を行い、効果的・効率的な点検方法を検討していく。</p>	5点

⑦	<p>有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅において、家賃や介護保険外のサービス提供費用等の確認や、介護相談員等の外部の目による情報提供等に基づき、不適切な介護保険サービスの提供の可能性がある場合は、利用者のケアプランの確認等を行い、必要な指導や都道府県への情報提供を行っているか。</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>ケアプラン点検においては実施していなかった。(資格)</p> <p>介護相談員派遣事業の活動場所を、介護保険外の施設は想定していなかった。(包括)</p>	10点
<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>本年度はサービス付き高齢者向け住宅入居者のケアプランの提出も求め点検していく。(資格)</p> <p>介護相談員派遣事業の活動場所を、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅も、対象としていくか検討していく。(包括)</p>			
⑧	<p>介護ワンストップサービスの対象手続を「ぴったりサービス」上で検索できるように登録している、又は、各保険者の介護ワンストップサービスの対象手続を1以上、「ぴったりサービス」上でオンライン申請対応しているか。</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>現在、「ぴったりサービス」の登録及びオンライン申請対応はしていない。</p>	10点
<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>今後、「ぴったりサービス」の導入のメリット等を精査し検討していく。</p>			
⑨	<p>所管する介護サービス事業所について、指定の有効期間中に一回(16.6%)以上の割合で実地指導を実施しているか。⇒27%</p> <p>ア 実地指導の実施率(実施数÷対象事業所数)が33.3%(3年に1回)以上</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>実地指導は市川市介護サービス事業者等指導実施要綱に基づき実施しているところであるが、当該要綱に規定の対象事業者は厚生労働省からの助言(指定の有効期間内に最低1回の実施)並びに所管事業所数等に鑑み、次のとおりとしている。①新規指定の翌年度②前回の指導を受け5年を経過したもの③その他市長が特に必要とみとめるもの。このため、特段の事由がない限り、有効期間内に1回程の実施となっている。</p>	10点
<p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>3年に1回以上のスパンで実地指導を実施していくかは未定。</p>			

(2) 介護人材の確保

	指標	今後の取組(得点できなかった原因とそれを踏まえた改善策)	左記の取組により得点できる点数
②	介護保険事業計画に、介護人材の確保・資質の向上、業務の効率化・質の向上に関する事項を位置付けているか。	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>介護人材の確保に関する事業のみ行っていたため。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>第8期計画にて位置付ける。</p>	20点
⑤	ボランティアポイントの取組を実施しているか。	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>ボランティアポイントの取組を実施していないため。</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>今後、千葉県もボランティアポイントを実施している自治体に対し、補助等を行う可能性があるため、そういった動向を注視しつつ、本市でもどのようにボランティアポイントの取組を実施していけばよいのか見当を行っていく。</p>	10点
⑨	<p>文書量削減に係る取組を行っているか。</p> <p>イ 上記省令を踏まえて改訂された指定申請に関する様式例(平成30年9月28日付事務連絡)に該当する帳票について、Excelに統一した様式の活用</p>	<p>【得点できなかった原因など】</p> <p>取り組みが出来ていなかった</p> <p>【上記事項を踏まえた改善策】</p> <p>これらの改善を図る予定。今年度の法改正時に併せて、条例を変え、その際に様式も変更する予定。(来年度は得点が見込める予定である)</p>	3点